

次代に責任!

～愛されるまち神戸を「西区」から～

神戸市会議員

西区

Vol.6

2022

市会報告

事務所:神戸市西区王塚台7丁目105-2
TEL&FAX 078(924)0151
E-mail
kajiyukio2019@gmail.com



編集・発行/立憲民主党神戸市会議員団 〒650-8570神戸市中央区加納町6-5-1 TEL 078 (322) 5844 FAX 078(322)6161

西神中央が変わります!

西区役所が西神中央へ移転、そして今秋には「なでしこ芸術文化センター」が完成し、区として最大蔵書数となる「新西図書館」、そして本格的音楽ホールとして「西神中央ホール」が開館します。

西神中央駅前のリノベーションでは、駅前周辺空間が見違えるような都市空間へと生まれ変わります。完成後は、多くの区民の皆さんが集い、交流することを通じて西区が大いに活性化していくと期待しています。

すべての事業が完成するまでの間、現地周辺の住民の皆さまには大変ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願い致します。



2月14日オープン 神戸市西区役所新庁舎

玉津支所のこれから

西区役所の移転に伴って、旧西区役所は「玉津支所」として開所されました。

これまでと同様の行政機能を残しつつ、今後は庁舎改修を経て、子育て支援や地域活動など、地域の皆さんが利活用できる庁舎に生まれ変わります。

改修完了までには約2年必要ですが、誰もが利用しやすい「玉津支所」となるよう意見反映に努めています。区民の皆さんどうぞご期待ください。





1. 公衆衛生業務の充実について

質疑

各区の保健センターについて大幅な組織改正が行われるが、その内容・理由について伺いたい。



答 担当

現在、保健センターは「健康福祉課」と「こども家庭支援課」の2課体制だが、令和4年度よりこの2課を統合することで、業務間の連携をより強くして、複雑多様化するニーズに対応できるようにするとともに、新たな感染症や災害対応にも対応できるようにしたい。

かじ 要望

統合により幅広い業務に対応でき、コロナを含めあらゆる保健衛生業務が充実するとともに、**複雑多様化している市民ニーズ**に対応頂きたい。

2. データを活用した市民への健康づくり対策について

質疑

市民向けポータルサイト「スマートこうべ」が3月下旬に開設予定だが、これを通じて、健康やヘルス分野について、市民ニーズに応じた情報・データを積極的に発信されると思うが、どのように活用されるのか伺いたい。

答 局長

利用者である市民の属性や興味・関心に応じて、市政情報や地域情報を取得できる機能がある。健康分野として、予防接種が受けられる医療機関を地図上から検索できる機能や、健診の受診勧奨など効果的な活用を検討している。

質疑

データ活用による高齢者へのフレイル対策についての政策展開は。

答 局長

コロナ禍によってフレイルが非常に増えると危惧しており、健診とかレセプト、介護データなどを利用して高齢者の健康課題の把握や支援を行っていく。



かじ 要望

健診データやレセプトデータなどを活用した「ヘルスケアデータ連携システム」の運用も始まっており、その結果として**市民の健康増進や予防医療に寄与**するよう努めてもらいたい。

3. 神戸市看護大学の運営について

質疑

在籍する学生が単位取得後に受験資格を与えられるのは、看護師免許だけでなく、保健師免許については選択制かつ20人の選抜制である。他大学では在籍生全員に看護師と保健師の受験資格が与えられる所もあり、優秀な学生を集める観点で検討すべきと考えるがどうか。

答 副局長

国の規則や制度変更など考慮しなければならないこともあるが、今般のコロナ禍で特に保健師教育の重要性が再認識されている。他大学を参考に保健師課程の人数枠を広げることができないか検討したい。

かじ 要望

多くの学生に選ばれる看護大学を目指すとともに、より多くの卒業生が市内の医療機関に就職し活躍頂けるよう努められたい。



1. 脱炭素社会の実現に向けた取り組みについて

質疑 再生可能エネルギーの導入促進に関して、令和4年度の組織改正で企画調整局からエネルギー政策が環境局に移管をされることとなるが、環境局としての考え、意気込みを伺いたい。

答 局長 神戸市地球温暖化防止実行計画について骨子を示し、神戸の豊かな自然環境を生かし、脱炭素による暮らしと社会の実現を可能なものとするため、水素エネルギーの利用促進をはじめとした施策に対し、体制を大幅に強化して取り組んでいく。

質疑 電動車の普及促進として、燃料電池車を市長公用車に導入され、加えて新年度には燃料電池バスの導入についての補助が制度化された。今後の導入促進に向けた考えは。

答 環境保全部長 普通乗用車は補助実績、登録台数が増えてきている。燃料電池バスは、まず市バスに1台導入し、今後民間事業者も含めて増えるよう努めたい。また、水素ステーション整備に対しての補助も用意しており、積極的に普及啓発に努めたい。

質疑 再生可能エネルギーの導入促進としての太陽光発電について、国は野心的に取り組むとしているが、市としての方針及び公有施設に対する設置促進の考えは。

答 局長 市だけではなく、事業者、市民とともにイノベーションなど取り入れながら、再生可能エネルギーを促進していきたい。また、公有施設への設置はこれまでも取り組んできており、さらに積極的に増やしていきたい。

2. 外部給電・神戸モデルについて

質疑 令和5年度末までに避難所に指定されている小・中学校の体育館に整備されると聞いているが、給電確保の課題にはどう対応するのか。

答 局長 危機管理室と連携して、自動車販売業者と連携協定を結び、またA1防災協議会と連携して、給電サポーターマッチングシステムを全国に先駆けて開発し実証実験を行った。今後も関係者と協力しながら進めていきたい。

3. ICTを活用した環境教育の充実について

質疑 教育委員会がGIGAスクール構想を進めているが、ごみの分別やりサイクル、地球環境や生物多様性、SDGsなど、子どもたちの学びのためICTを利活用したコンテンツを導入する予定は。

答 副局長 これからの環境教育にはICTを活用して子どもたちが理解しやすく、効果的に学んで頂くことが重要だ。動画などデジタルコンテンツの拡充や、授業等で活用しやすいような工夫など、よりよい教材づくりに努めたい。

質疑 大人も環境について学ぶという観点での取り組みは。

答 副局長 ポータルサイト「スマートこうべ」と連携し、環境に関連する情報をタイムリーに届けられることから、これを最大限に活用して効果的な情報発信を行っていきたい。





1. 発達障害者への支援について

質疑

令和4年度以降、発達障害者支援に係る相談業務が委託されると伺っているが、当事者やその家族の方への支援策という意味でどのように対応されるのか。



答 副局長

多岐にわたるニーズに対応していくため、支援の充実、そして質の維持・向上が引き続き求められている。まず、発達障害者支援センターは市役所に移転し施策の企画・立案を、そして4か所ある相談窓口をネットワーク化して連携を強化していく。

かじり要望

本庁と各相談窓口との役割をしっかりと明確化し、個別相談事案に応じたきめ細やかな対応をお願いしたい。

2. 災害時における要援護者支援について

質疑

神戸市の条例に基づき、要援護者台帳の作成や地域の支援団体との連携協定などの情報共有は進んでいるが、長期化しているコロナ禍の影響で、地域活動を通じた市民の集まる機会が減っている。このような状況を踏まえ、どのような体制を構築していくのか。

答 担当部長

令和4年2月現在、86地区団体と連携し、台帳の更新も9団体で行って頂いている。さらなる充実に向け取り組んでいきたい。コロナ対応については、企画調整局から感染防止対策の基本及び対策を紹介・周知しつつ、地域の実情に合わせた活動を引き続きお願いしたい。

質疑

地域活動を担っていただいている方々だけではなく、すべての市民が要援護者支援とは何かという認識を共有できるよう、そして支援への意識を高めていけるよう周知、PRして頂きたいがどうか。

答 担当部長

福祉局だけではなく、各部局と連携して要援護者支援の意義や制度の周知、条例の理念をしっかりと伝えていきたい。

3. 「スマートこうべ」との連携について

質疑

市民目線で必要な情報やサービスが入手・利用できるプラットフォームとして「スマートこうべ（ポータルサイト）」が構築予定であり、Webサービスの集約・ワンストップ化が進んでいく。高齢者や障害者の方たちがこのスマート化の流れにスムーズに対応できるよう福祉局として取り組んでもらいたいがどうか。



答 局長

福祉局として、誰一人取り残さないというのが大きな命題だ。スマート化の流れに乗り遅れないよう丁寧に対応したい。



かじ 視点

子どもたちの思いに寄り添う

ある中学校での卒業生答辞にこんな言葉がありました。

「コロナ禍は“彩りを失った日常”、“先の見えない不安”、そして次々と行事や活動がなくなり心に穴が開いたようだった。そんな中でも先生方は僕たちのために知恵を出し、工夫をして多くの機会を作ってくれた。そう

いった意味で僕たちは恵まれた学校生活を送ることができ、心から感謝している。」

なんて健気な思いかと感じました。

いまこそコロナ禍に生きる子どもたちに寄り添い、本音を受け止めてあげることが必要だと感じています。そして、子どもたちの未来を精一杯支え、励まし、応援し続ける、そんな大人でありたいものです。

かじ幸夫は、これまで地域活動に携わってきた経験をもとに、子どもたちの健やかな成長を強く願いつつ、地域の皆さんとの協働で子どもたちを支えていきます。

西区のさらなる発展を願って

西神中央周辺のリニューアルや駅前リノベーションについて紹介しました。一方で西区は、市内2番目の大きな区域面積を有しており、農村里山などの風光明媚な地域、下町風情の温かみを感じられる地域もあります。さまざまな顔を持つ西区の特徴を大切にして、区民の皆さんが住んでいて“誇りに思える街”にしていきたいと考えています。

今後、農業公園のリニューアルも予定されており、これら神戸市が行う事業に対して、皆さんの声を活かした取り組みとなるよう意見反映に努めます。どしどしご意見をお寄せください。

市民の皆さまへの説明責任について

神戸市当局に対して、市会議員としてよくこんな申し入れを行います。

「神戸市の行う施策について、市民に対して丁寧に分かりやすく説明してもらいたい」

「この取り組みについて、市民に対しさまざまな機会をとらえ周知、PRに努めてもらいたい」

「もっと取り組みを強化していくべきなのに、市民理解が進んでおらず市としての説明が不足している」etc…

もちろん、神戸市当局は市の施策について、市民に対して機を逸しないようお知らせし、内容について丁寧に説明する責任があります。

一方で市民の方から信託を受けて活動している市会議員が、直接市民の皆さまへ市政の現状を説明する機会を、今以上に増やしていかなければならないと感じています。

そこで！！ 市政報告会を開催します！

かじ幸夫 市政報告会

① 2022年5月28日(土)

午前の部 10:30～12:00 午後の部 14:00～15:30
西区文化センター「なでしこホール」

② 2023年3月1日(水) 18:30～20:00

なでしこ芸術文化センター「西神中央ホール」

※こちらは、今秋開館する新しいホールです。この機会に、市政報告を聞きがてら、ぜひご来館ください。



西神中央ホール 完成予想図

詳細は、HPもしくは会派HPにて告知させていただきます。奮ってご参加ください。

令和4年度神戸市一般会計予算について



久元市長へ直接予算を要望

予算確保に向けて

昨年12月、立憲民主党神戸市会議員団は久元神戸市長に対し、令和4年度予算策定に向けて、会派としての要望実現を求める要請を行いました。

令和4年度予算では、新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの追加接種などの感染防止対策に約103億円、コロナ患者の入院受け入れなど医療提供体制の安定的確保に約59億円、その他にも生活困窮者や市内商業者への支援など、**コロナ禍とのたたかいに打ち克つための予算が確保されています。**

また、ポストコロナを見据えた神戸観光の推進、都心三宮・ウォーターフロントの再整備など神戸のまちづくり、そして特に子育て支援やこども・若者ケアラーへの支援、**フレイル予防の推進**など、会派として求めた「人」への投資についても予算が確保されています。

令和4年度 一般会計
歳入・歳出総額

8,869億円

令和4年度神戸市 主な予算について

●新型コロナウイルス感染症への対策

- 【拡充】 無症状・軽症患者支援の充実 … 44億200万円
- 【新規】 生活困窮者支援 … 2億9,500万円



●健康・福祉関連

- 【新規】 こども・若者ケアラーへの支援 … 4,200万円
- 【新規】 看護大学にける学生確保、市内就職支援 … 5,400万円
- 【拡充】 認知症神戸モデルの推進 … 3億3,200万円

●子育て・教育関連

- 【拡充】 学童保育の充実 … 9億2,800万円
- 【新規】 高校生等の通学定期券補助 … 8,000万円



●環境・経済関連

- 【新規】 水素エネルギー利活用の推進（市バスに燃料電池バス導入） … 8,100万円
- 【新規】 市内商業者支援の充実 … 4億900万円



予算の内容は抜粋です。
詳細はこちらから見る您可以通过 (PDF)

